

平成 24 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 アンジェス MG 株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副長 村山 正憲
電話番号 03-5730-2480

地域イノベーション創出実証研究補助事業（技術シーズ事業化支援枠）に採択
～難治性炎症性腸疾患の新規治療薬の開発を目的とする
『PLGA 結合型核酸の研究開発』の産学官協同プロジェクト～

難治性炎症性腸疾患の治療薬の開発を目指して、当社、株式会社ジーンデザイン、産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門および大阪大学大学院医学系研究科（森下教授、他）の産学官共同で実施します「PLGA 結合型核酸の研究開発」について、この度、経済産業省の平成 24 年度地域イノベーション創出実証研究補助事業（技術シーズ事業化支援枠）に採択されましたのでお知らせいたします。

当社はこれまで核酸医薬である NF-κB デコイオリゴを用いた研究開発を精力的に行い、アトピー性皮膚炎治療薬の開発（塩野義製薬株式会社との共同開発中）や PTA 処置後の血管再狭窄の予防効果を持つ薬物塗布型 PTA バルーンカテーテルの開発（メディキット株式会社との共同開発中）を手がけてきました。これらの疾患では NF-κB デコイオリゴは治療標的部位の近傍に局所投与されます。これは、他のタイプの核酸医薬と同様に、デコイオリゴも分解酵素に対する安定性、作用持続や薬物輸送という課題があり、従来型のデコイオリゴそのままでは全身投与での薬効が期待できないことに起因します。今回の事業では、薬理活性向上、酵素分解への抵抗性向上、DDS の組み込みなどの改善策を検討し、全身投与でも有効な NF-κB デコイオリゴの創出を目指します。

適用疾患としてはまず炎症性腸疾患を検討し、経口投与で有効な治療薬を創出します。新規デコイ核酸の全身投与での有効性が示されれば、リウマチ性関節炎、変形性関節症、喘息など様々な疾患への適用の可能性が広がります。

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）は、10 代後半から 30 代前半の男女によく発生し、消化器系粘膜のびらん・潰瘍によって下血、下痢、腹痛を多発させる難治性の疾患です。治療としては、自己免疫異常を抑えたり、炎症を抑えたりすることはできても、多くの場合、発症－治療を繰り返した後、大腸摘出手術が行なわれることとなります。この

対策として、近年、抗体医薬が開発され、世界約 100 カ国で 125 万人以上（国内約 10.5 万人）の人達がこの治療の恩恵を受けていますが、病院での点滴が必要で、治療費が高く、根治しがたいことから、患者負担を軽減し、かつ安全で安価な根治療法の確立が切望されております。このような背景のもと、我々産学官 4 者は、互いの独自技術を持ち寄り、PLGA 結合型核酸を新規に創出することによって、患者に大きな負担を掛けず、安全で安価な根治治療薬の開発を目指しております。

<参考>

－用語の解説－

【1. 核酸医薬】

核酸医薬とは、遺伝子の構成成分の一部を使うもので、核酸（DNA 及び RNA）からできているため、核酸医薬と呼ばれています。核酸医薬は、核酸合成機で人工的に作ることができます。

【2. PLGA】

PLGA とは、生体分解・適合性のポリ(ラクチド-co-グリコリド)共重合体のことで、内部に封入された薬剤成分は、PLGA の加水分解によって徐々に放出(徐放性)される性質があり、効果を長期間持続させることができます。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上